

2021年3月28日

農業経済学関連学会協議会 関係各位

日本農業史学会会長 坂根 嘉弘

日本協同組合学会会長 増田 佳昭

協同組合図書資料センター所蔵資料の移管場所に関する
情報提供のお願い（緊急）

協同組合図書資料センターは、1979年に設立され、農協など協同組合に関する文献および農協・漁協等の一次史料（文書）を保存し、公開してきました。2016年時点では、約27万冊の図書・文書が所蔵されてきましたが、同センターの閉鎖にともない、現在所蔵している図書・文書の保管場所がなくなる、という事態に直面しています。

移管先の確保に向け、情報提供を賜りたく、別紙の内容につきまして、各学会のWebサイトやメーリングリストを通じて、別紙の内容につきまして、会員諸氏への周知をお願いしたく存じます。

2021年3月28日

農業経済学関連学会協議会
加盟学会 会員各位

日本農業史学会
日本協同組合学会

協同組合図書資料センター所蔵資料の移管場所に関する
情報提供のお願い（緊急）

協同組合図書資料センターは、1979年に設立され、農協など協同組合に関する文献および農協・漁協等の一次史料（文書）を保存し、公開してきましたが、2019年6月に閉館されました。

2016年時点では約27万冊所蔵されていた図書・文書のうち個人文庫などは国文学研究資料館への移管などがなされましたが、保管先を確保できなかった段ボール箱1458箱、3月1日時点の目録入力資料数（簿冊、冊子単位）41,791冊におよぶ農業協同組合関係の組織資料に関しては、2019年度より農業協同組合および農業史研究者有志が、科研・基盤研究（B）「戦後農政の展開過程と農業協同組合：全中所蔵資料の検討を通じて」（研究代表者：石田正昭）を組織し、目録を作成してきました。

当センター所蔵文書は、昭和戦前期から現在にかけての農林省（農水省）、産業組合、農業協同組合（全中および各都道府県中央会、単位農協）、漁業協同組合等が作成した一次史料および関係者のみに配布された刊行物を中心としており、他図書館には所蔵されていない貴重な資料を多く含み、農業史研究や協同組合研究のみならず、広く農業経済学の発展に寄与する資料が多く所蔵されているものと評価しております。

当センター閉館後、目録作成のために資料群を一時保管していた施設も、東京都による用地買収に伴い2022年7月には解体が始まることと予定されています。

私たちは、建物の解体を目前にして、当センター所蔵資料の移管先を探しています。段ボール箱1458箱すべて、あるいは一部を保存していただける図書館・文書館等につきまして、農業経済学関連学会のみなさまに情報の提供をお願いいたします。移管先につきましては、図書館・文書館等を想定し、資料を利用に供していただくことが望ましいのですが、それが叶わない場合には倉庫のような建物に緊急避難することも想定しております。

当センター所蔵資料の保存を実現するために、農業経済学関連学会のみなさまにおかれましては、よろしくご検討のほどお願い申し上げます。

記

1. 協同組合図書資料センター所蔵資料の概要

昭和戦前期から現在にかけての農林省（農水省）、産業組合、農業協同組合（全中および各都道府県中央会、単位農協）、漁業協同組合等が作成した一次史料および関係者のみに配布された刊行物段。総量は段ボール箱 1458 箱

※ 現時点での目録をご覧ください。下記の電子メールアドレスまで、お問い合わせください。

2. 情報提供いただきたい内容

- 1) 移管先候補： 例：大学図書館、文書館、倉庫など
- 2) 移管先候補の連絡先：担当者名、電話番号、電子メールアドレス

3. 情報提供の期限： 2021年5月31日

4. 問い合わせ先

電子メールアドレス：ja_kaken@stat.media.kyoto-u.ac.jp（担当：仙田徹志）

以上

